

カーネーション冬季低温栽培適応品種の選定

全国3位の出荷量を占める兵庫のカーネーションは冬季に施設内の加温（13℃）が必要で、近年の燃油高騰が経営を圧迫している。そこで、燃油削減のために、スタンダード系品種を冬季栽培限界とされる8℃に設定した温室で栽培し、慣行栽培（13℃）と比較し生育、収量及び切り花品質が変わらない低温栽培可能な品種を選定した。

内容

赤系スタンダード品種

2009年7月に100㎡のガラス温室内の隔離ベンチに定植した。低温栽培区では2009年12月～2010年4月末まで、17:00～7:00の間、8℃の夜間暖房設定とした。

「フランススコ」の春季（3月～5月）に開花する2番花の収量性が低温栽培区でも慣行区（13℃）と変わらず、茎が硬くなる等低温栽培が可能なが明らかになった。また、「エクセリア」では、低温栽培区の切り花長が長くなるものの、4月末までの2番花切り花本数が197.1本と経営上の指標となる120本を大きく上回った（図）。

ピンク系スタンダード品種

2010年7月に定植し、2009年と同様に低温栽培

表 暖房温度の違いがスタンダードカーネーション各品種2番花の品質に及ぼす影響

品種	温度設定	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	茎径 ^z (mm)	茎下垂指数 ^y (1硬～4軟)	外観の特徴
赤系 アンソニー	13℃	70.5	30.7	4.6	1.1	花卉の下垂
	8℃	72.3	35.4	5.0	1.0	花卉の下垂
	t検定	ns	*	ns	ns	—
0 フランススコ	13℃	73.5	31.0	4.0	2.0	無
	8℃	76.7	33.5	4.5	1.1	無
	t検定	ns	ns	ns	**	—
9 マスター	13℃	62.9	35.6	4.9	1.0	無
	8℃	65.9	40.9	5.4	1.0	無
	t検定	ns	*	ns	ns	—
0 エクセリア	13℃	73.3	28.0	3.9	1.1	無
	8℃	78.1	30.8	4.5	1.0	無
	t検定	*	ns	*	ns	—
ピ ンク 系	13℃	67.9	51.8	5.9	1.0	茎の節折れ
	8℃	70.5	52.1	5.8	1.0	茎の節折れ
	t検定	ns	ns	ns	ns	—
2 0 ピンクモンテズマ	13℃	65.1	38.4	4.9	1.0	無
	8℃	64.1	40.7	5.5	1.0	無
	t検定	ns	ns	ns	ns	—
0 1 0 ミュ	13℃	70.3	45.1	5.3	1.0	無
	8℃	72.0	43.3	5.2	1.0	無
	t検定	ns	ns	ns	ns	—
年 度 ベルタ	13℃	69.5	40.3	5.2	1.1	無
	8℃	70.8	38.1	5.1	1.0	花卉萎れ
	t検定	ns	ns	ns	ns	—

z 上位第5節間中央部の最大径

y 切り花の先端から45cmの位置で水平に保ち、支点と花を結ぶ角度を指数化（10°未満:1, 10～20°:2, 20～30°:3, 30°以上:4）

表中の*、**はt検定によりそれぞれ5%、1%で有意差のあることを、nsは有意差のないことを示す

適応性試験を実施した。

切り花品質が変わらず（表）、収量性が良い（図）、「ピンクモンテズマ」が低温栽培可能であることが明らかとなった。

今後の方針

今回、低温栽培可能な3品種を選定することができたが、「エクセリア」以外の品種では、経営上重要な4月末までの切り花本数が少ない。今後、低温栽培においても開花期を前進させることができる技術開発と燃油削減効果の把握に取り組む予定である。

東浦 優（淡路農技 農業部）
（問い合わせ先 電話：0799-42-4880）

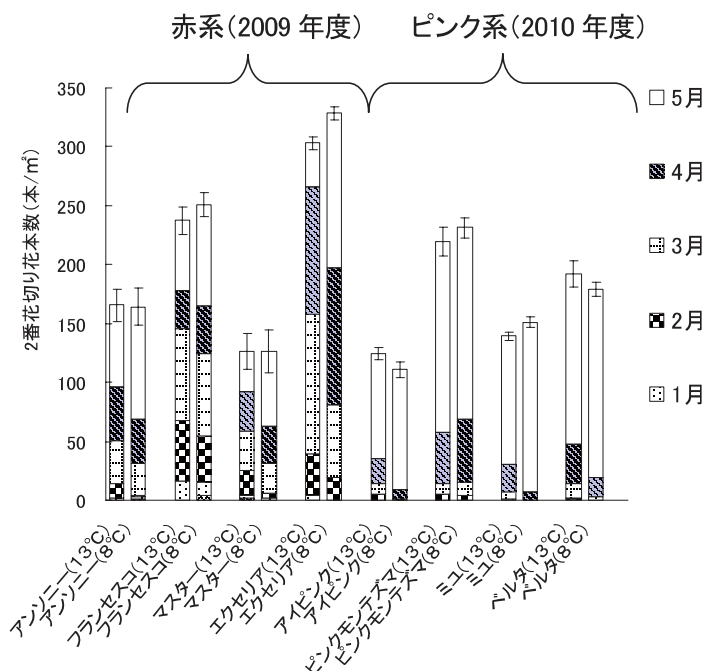


図 暖房温度の違いがスタンダードカーネーション各品種2番花切り花本数に及ぼす影響

（各年度毎に次年度5月31日までの調査。）
（㎡はベンチ面積当たり）